

仙台文学館ゼミナール 2023

深い言葉の世界を追究し、知的刺激と発見をめざす「仙台文学館ゼミナール」。

日々の暮らしのなかで文学や言葉に関心を持つ方々にむけて、

成熟した読書と表現を究めるカリキュラムをお届けします

表現をみがくコース

小池光 短歌講座

歌人・小池光が、三十一文字に込められたことばの魅力について解説します。参加者の方には、毎回事前に課題作品を一首提出していただき、それらの作品をもとに講評を行ないます。

日程

第151回 2023年 5月13日(土)

締切:4月19日(水)

第152回 6月10日(土) 締切:5月17日(水)

第153回 7月 8日(土) 締切:6月14日(水)

第154回 9月 9日(土) 締切:8月16日(水)

第155回 10月14日(土) 締切:9月20日(水)

第156回 11月11日(土) 締切:10月18日(水)

第157回 12月 9日(土) 締切:11月15日(水)

第158回 2024年 1月13日(土)

締切:12月13日(水)

第159回 2月10日(土) 締切:1月17日(水)

第160回 3月 9日(土) 締切:2月14日(水)

※新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となる可能性があります。
最新の情報はホームページ等でご確認ください。

時間

13:30~15:40

(10分間の休憩をはさみます)

受講料

1回1,000円

講師

小池 光(こいけ ひかる)

定員

60人



1947年宮城県柴田町生まれ。東北大学理学部大学院修了。1972年「短歌人会」に入会。第2代仙台文学館館長(2007年4月~2020年3月)。2011年4月、『山鳩集』で第3回小野市詩歌文学賞を受賞。2012年、『うたの動物記』で第60回日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。2013年春、紫綬褒章を受章。2016年2月、『思川の岸辺』で第67回読売文学賞を受賞。2020年秋、旭日小綬章を受章。2022年『サーベルと燕』で現代短歌大賞を受賞。おもな歌集に『山鳩集』『梨の花』、評論集に『茂吉を読む 五十代五歌集』『石川啄木の百首』など。読売新聞、北国新聞などの歌壇選者をつとめる。

申込方法

※連続講座ではありません。

希望する回ごとに、毎回お申込みください。

往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、電話番号、講座名、参加を希望する回・月を明記の上、仙台文学館へ。(はがき1枚につき1人、1講座の申込み。締切は、それぞれ必着になります。申込み多数の場合は抽選になります。)

(お寄せいただいた個人情報は、上記イベントのご連絡以外には使用しません)

申込・問合先

仙台文学館

〒981-0902

仙台市青葉区北根2-7-1

TEL.022-271-3020

<https://www.sendai-lit.jp/>

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。